

その道のプロが伝える“素敵ライフ”の作り方

vol.2

手織り絨毯

モロッコ製手織り絨毯の製造・販売を行う三方舎の今井さん。上質な絨毯がもたらす温かい時間や、何十年も使っていくことで深まる特別な価値について聞きました。



私がお答えします

三方舎代表 兼 BDコーポレーション(株)アドバイザー
今井 正人(いまい まさと)さん

1969年新潟県生まれ。イランの遊牧民の手織り絨毯「ギャッベ」を輸入し、特に高い芸術性・品質を持つ「アートギャッベ」を全国に広めた実績を持つ。2011年に三方舎を設立し、モロッコの絨毯復興に取り組んでいる。

歲月と共に味わいを増す 上質な絨毯のある暮らし

イランの草木染手織り絨毯「ギャッベ」の選定人としての実績を持つ今井さん。もちろん自身も手織り絨毯を長年愛用。そんな今井さんの自邸を訪問し、話を聞きました。

「15年前、家族で使い始めたギャッベは1畳ほどの小さなもの。そこにも家族が集まって過ごしていました。家族の記憶が詰まったその小さなギャッベは、今は新潟を離れて暮らす息子が大切に使っています。ちなみに、上質な手織り絨毯は100年以上も使っているんですよ」

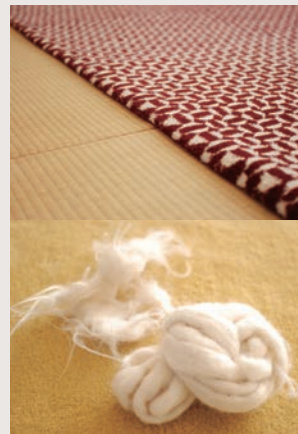
化学繊維ではなく、羊毛の手織り絨毯は使い込むほどに遊び毛が収まっていき、艶が出て、毛の経年変化も楽しめるそう。「直接触れる絨毯は家の中で特にくつろげる場所になります。絨毯があることで、そこに家族が自然と集まってくる。まるで磁石のような存在ですね。長く使うほどに愛着が深まる本物の絨毯は、ものを大切に使うことの尊さまでも教えてくれます。」



こちらは40年間もイランの遊牧民が使っていた絨毯。



One Point Advice



品質が高い手織り絨毯は、
年中使えてメンテナンスも簡単

絨毯は夏は暑そうと思われがちですが、上質な羊毛の絨毯は毛の中に空気を含むため、さらりとした感触が楽しめます。また、羊毛に含まれるラノリンという油脂が水分をはじくため汚れにくく、静電気によるホコリの付着も防ぎます。また、目の細かいものはホコリの内部への侵入を防ぐため清潔さを維持できます。汚れが気になるときは濡れ布巾で拭いてあげると良いでしょう。小さなお子様がいるご家庭では、「汚れてしまう」と絨毯を敬遠される方がいらっしゃいますが、感覚が敏感なお子様にごそ絨毯の心地よさを五感で感じてほしいと思います。

4. 客間の和室には、今井さんが代表を務める三方舎で手掛けたモロッコ製の「GOSHIMA絨毯」が、2.5センチの厚みと草木染めによる優しい色味が心地よい時間をつくり出す。5. 長い毛足が特徴のモロッコの「ベニオワレン」。白いラグが主流だが、こちらは珍しい赤い染料で染めたもの。約40年前に織られたものだそう。6. スツールやベンチに使えるスクエア型のコンパクトな絨毯も。



家族構成：夫婦+子ども3人
取材協力：三方舎 今井正人さん
www.sps-i.jp



今井家のリビングに敷かれた手織り絨毯は、6年前にイランの絨毯商から譲り受けた「ルリバフト」という絨毯。イランの旧家で40年使われてきたものだそう。